

ショートコメント vol.355 (2025 年 3 月 18 日)

テーマ：街角景気にみる万博への期待感 ③

～関連コメント数は前月から 1.3 倍に増加～

●街角景気の直近の状況

街角景気として知られる、内閣府「景気ウォッチャー調査」の 2 月調査結果が公表された。

現状判断については、訪日客の増加による好調な動きは続いているものの、寒波や雪による悪影響のほか、野菜や米の価格高騰が響き、2 か月連続の低下となった（図表 1）。

先行き判断は、インバウンドの増加傾向や万博への期待もあって、DI の低下は免れたものの、実質賃金の前年割れ傾向が続く中、足元は消費者の節約志向が根強い。今後も物価の上昇傾向には変化がないことから、消費の基調については慎重な見方が少なくない。

●先行き判断と万博の開催

一方、大阪・関西万博の開催が 4 月に迫っていることから、先行き判断に対する万博の影響に注目したい。

景気ウォッチャー調査では、景気判断に付随する形で、その判断の根拠となる定性コメントも聴取している。そこで先行き判断にかかる定性コメントのうち、万博への言及状況をみると、2 月調査での言及は全国で 45 件と、前月（36 件）から 1.3 倍の増加となった（図表 2）。

基本的には関西が 32 件と大半を占めるものの、その他の地域も 13 件となるなど、一定の関心がみられることは間違いのない。なお、その他の地域の内訳としては、北海道、東海が 3 件、北陸、中国が 2 件などとなっている。

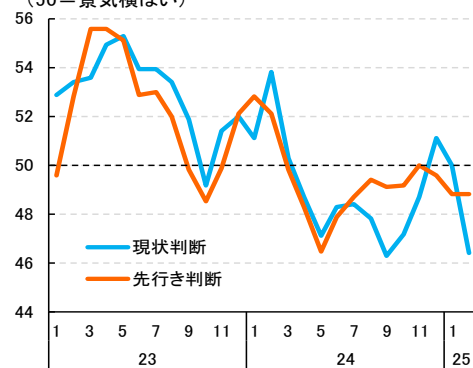
●万博コメントの業種分布

一方、2 月調査で万博に言及のあった業種に注目すると、前月まではホテル関連でのコメント数が 10 件と最多であったが、今月は百貨店を中心とした小売が 14 件と最も多く、雇用やホテル関連が 7 件と続く（図表 3）。

雇用関連では、警備関連を中心に幅広い求人の増加に期待が集まっているほか、万博による求人条件の押し上げ効果にも期待が大きい。

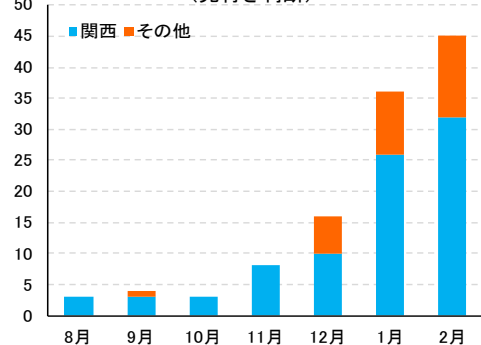
一方、関西以外の地域の傾向としては、前月は旅行代理店、ホテルが中心であったが、今月は関西と同様に小売が最多となっている。

【図表 1】
（関西）景気ウォッチャー調査の現状・先行き判断
（50＝景気横ばい）

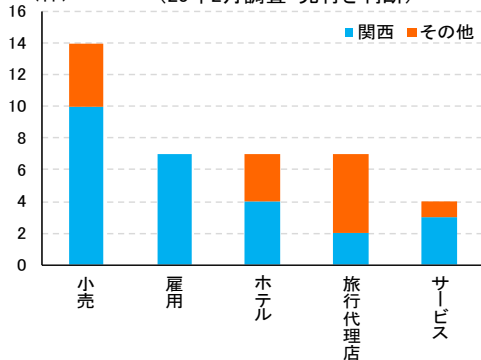


（出所）内閣府「景気ウォッチャー調査」、以下同じ

【図表 2】
（全国）万博関連のコメント件数
（先行き判断）



【図表 3】
（全国）万博関連の業種別コメント件数
（25年2月調査・先行き判断）



※本稿は情報提供が目的であり、商品取引を勧誘するものではありません。また、本稿は当社が信頼できると判断した各種データに基づき作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。なお、本稿に記載された内容は執筆時点でのものであり、今後予告なしに変更されることがあります。

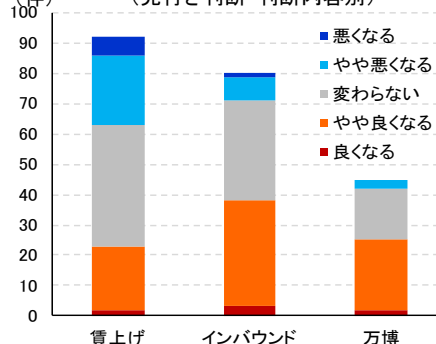
●先行きのプラス材料

なお、先行きの見通しにおける他のプラス材料については、もちろん万博以外のものも多い。たとえば、コメント数は「賃上げ」関連や「インバウンド」関連が万博を大きく上回っている（図表 4）。この点でいえば、先行き判断全体に占める万博の位置づけは、依然として限定的といわざるを得ない。

ただしコメントに寄せられる期待感でいえば、万博は決して劣っておらず、「やや良くなる」、「良くなる」といった景気判断の分布状況は、むしろ賃上げ関連を上回っている。

今後についても、前月調査からコメント数が 1.3 倍に増えたように、開催が近づくにつれて期待感の上昇が続くとみられる。開催地である関西での高まりはもちろん、地域的、業種的な広がりがどこまで出てくるかが引き続き注目される。

【図表 4】（全国）主なキーワード別コメント件数
（先行き判断・判断内容別）



本件照会先：大阪本社 荒木秀之
TEL: 06-7668-8805 mail: hd-araki@rri.co.jp

※本稿は情報提供が目的であり、商品取引を勧誘するものではありません。また、本稿は当社が信頼できると判断した各種データに基づき作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。なお、本稿に記載された内容は執筆時点でのものであり、今後予告なしに変更されることがあります。